

科目名	言語発達学						授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期	1年	前期	
【授業の目的・ねらい】 子どもの前言語期から児童期までの各発達段階の言語能力、抽象概念、論理性などの知能、思考の発達を理解する。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 子どもの言語・コミュニケーション、前言語期からの言語獲得期、読み書きの獲得期までの発達過程について学ぶ さらに後半ではこれらの発達や獲得段階で困難を示す言語発達障害についても学ぶ。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 言語発達、及び言語発達障害についての基本的知識を身につけ、臨床授業に対応できるようになる。											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	序章：言語発達学概要 第1章 ことばとは何か(1. ことばの特徴・2. 役割)										
2	第1章 ことばとは何か(3. 領域 4. ことばの獲得理論 5. 獲得条件)										
3	第2章 ことばの発達の準備期(前言語期) 1. 音声知覚の発達 2. 音声表出の発達										
4	第2章 ことばの発達の準備期(前言語期) 3. コミュニケーション能力の発達										
5	第3章 ことばの発達の筋道 1. 語の獲得の筋道 2. 文法の発達										
6	第3章 ことばの発達の筋道 2. 文法の発達 3. 語用の発達										
7	第4章 養育者のかかわりと発達 1. 育児語 2. 養育者の語りかけ										
8	第5章 読み書きの発達 まとめ 小テスト										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 乳幼児期のことばの発達とその遅れ											
【準備学習・時間外学習】 授業内容の復習が必要です。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。											